
Missing ~ この想い ~

佐野-SaNo-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Missingこの想い

【Nコード】

N3085Z

【作者名】

佐野 - S a N o -

【あらすじ】

あなたは、この物語の意味がわかりますか――？

Episode・1（前書き）

突然、それは起こった。

友人が行方不明に――。

町の人数が段々と減り始める――。

そして、国内から世界の人や動物たちもみんな、消えていく――。

この世界で、何かが起こり始めたんだ。

Episode・1

「ノボルっ！」

翼は、自分の声で目が覚めた。

心臓がバクバクと脈打っている。額からも大量の汗が流れていて、呼吸する感覚さえも分からない。

恐い——。

翼はすぐ隣りで寝ているはずの竜の姿を確認した。

「俺はここにいるぜ」

声を上げた翼の寝言で起きたのだろう。

顔を合わすと竜はそう口にした。

大丈夫。竜は、いる——。

落ち着きを取り戻した翼は部屋から出て台所により、冷蔵庫の中にある水の入ったペットボトルをコップに入れて飲む。

「ふあ〜」

竜も起き始めて茶の間にあるソファーに座り、テレビの電源を入れた。

ザー。ザー。

チャンネルを切り替えるたびにノイズ音が聞こえます。

もう、テレビも使い物にならない。

ペットボトルの水も残り少ない。食糧だって……。

無くなればそこらへんにあるコンビニで確保すればいいと思ってたが、同じ考えの人が沢山いたようだ。

コンビニは荒れ果てていて、食べるものも食えたもんじゃない。

コンビニ以外にもスーパーや民家、そこら辺の建物はほとんどがガラスなどが割られていて、酷いありさまだった。

——今日は、水曜日。

普通なら今頃は学校で授業を受けているはずなのだが、そんな状況ではない。

改めて今の状況を確認する。

始めにクラスの友達が行方不明になり、親が搜索願を届けたが結局は見つからず数日が過ぎた。

次に同じ学校の違うクラスの子も行方不明になり、それから三日もしない内に次々と周りの友達や知り合いが姿を消し、親までもが消えた。

テレビでも報道されていたが、これは世界で起こっているようだった。

俺と親友の竜は、運が良かったのか今まで消えないですんだ。

もう町には俺らだけだろう――。

「なあ、翼。これから本都^{ホント}に行ってみないか？」

突然、竜がそう口にした。

「本都に？」

本都とは、この国で一番の人口を誇る大都市だ。
人口の数は約2500万人と言われている。

考えたこともなかったが、もしかしたらそこにはまだ人が沢山いるかもしれない。

「どうする？」

竜が訊く。

「別に行ってもいいが、行き方はどうする？ 電車も出てないし、車を動かすつても……」

「自転車があるだろ」

「本気かよ!？」

「ここですつとこうしてるわけにもいかないだろ？」

「うーん。仕方ないな。今すぐ準備しよう」

「了解」

俺たちは本都へ行く準備をし、家を出た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3085z/>

Missing ~ この思い ~

2011年12月10日21時51分発行